

令和5年2月3日  
国土交通省関東地方整備局  
甲府河川国道事務所

## 工事発注手続について

～「R4 甲府・峡南（きょうなん）国道出張所管内橋梁補修維持他工事」の発注手続を行います～

甲府河川国道事務所発注の「R4 甲府・峡南国道出張所管内橋梁補修維持他工事」において、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」を試行し、併せて「施工箇所が点在する工事の積算」「難工事指定」「余裕期間制度」を採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策を試行、採用しております。

今回発注する「R4 甲府・峡南国道出張所管内橋梁補修維持他工事」において、以下の不調・不落対策（1）～（4）を試行・採用します。

### （1）「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）地域防災実績評価」

競争参加者が少数と見込まれ、比較的難易度が低い工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績及び賃上げの実施を加算点としています。

### （2）「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

### （3）「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加対象とする「難工事指定」を採用します。

### （4）「余裕期間制度（任意着手方式）」

発注者が示した工事着手期限までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができる「余裕期間制度（任意着手方式）」を採用します。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 山梨県政記者クラブ

問い合わせ先>

関東地方整備局 甲府河川国道事務所

電話：055-252-5491（代表） FAX：055-251-2591

副所長（道路） 蔵園 和人（くらぞの かずと）（内線：206）

道路管理第二課 地域防災調整官 清水 巧（しみず たくみ）（内線：304）

## ● R 4 甲府・峡南国道出張所管内橋梁補修維持他工事

### 《工事概要》

- (1) 工事場所：甲府出張所及び峡南国道出張所管内
- (2) 工期：工事の始期から364日間（余裕期間：任意着手方式）  
（但し、令和5年4月1日までに工事を開始すること）
- (3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）地域防災実績評価型
- (4) 工事種別：橋梁補修工事
- (5) 工事内容（概要）

#### 【新波木井橋】（耐震補強工）

橋梁巻立て工 1 式

仮設工 1 式

#### 【切石歩道橋】（補修工）

舗装工 1 式

橋梁付属物工 1 式

橋梁補修工 1 式

現場塗装工 1 式

仮設工 1 式

#### 【道路維持】

応急処理工 1 式

#### 【竜王立体橋】（補修工）

鋼桁工 1 式

橋梁支承工 1 式

現場塗装工 1 式

仮設工 1 式

#### 【穴山橋】（補修工）

舗装工 1 式

鋼桁工 1 式

橋梁補修工 1 式

現場塗装工 1 式

仮設工 1 式

### 《施工箇所が点在する工事の積算》

点在する施工箇所

- ①新波木井橋（山梨県南巨摩郡身延町梅平地先）
- ②切石歩道橋（山梨県南巨摩郡身延町切石地先）
- ③竜王立体橋（山梨県甲斐市竜王地先）
- ④穴山橋（山梨県韮崎市穴山町地先）

### 《難工事指定》

本工事は、交通量が多い現道上での作業及び限られた狭隘な作業ヤード内での施工となる箇所が点在しており、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

また、加点対象となる期間は、審査基準日の月以前の1年間に元請けとして、完成・引き渡しが完了した施工実績が加点対象となります。

なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間を評価対象とします

## 《余裕期間制度（任意着手方式）》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働力確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和5年4月1日までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

## 《スケジュール》

- 入札公告、入札説明書交付 : 令和5年 2月 3日 (金)
- 競争参加資格確認申請書提出期限 : 令和5年 2月14日 (火)
- 入札書・工事費内訳書の提出期限 : 令和5年 3月13日 (月)
- 開札日 : 令和5年 3月16日 (木)

# 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は  
一般土木  
C,B+C工事  
維持修繕等

## 【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出  
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮  
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**  
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

**公示**

(工事内容・入札時期・落札方式等)



工事参加希望の意思確認・技術資料の提出  
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



参加要件は企業とし、  
技術者要件は求めない

指名基準による選定



**発注(指名通知)**

以降は指名競争・総合評価  
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制  
評価点(30点))÷入札価格=評価値  
※加算点は災害活動実績+賃上げの実施  
に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に  
係るインセンティブの向上